

町ごとブランド化

ミズノと連携協定

朝日町 職員制服・健康作り…

町丸ごとのブランド化に取り組む朝日町は25日、運動用品大手のミズノ(本社・大阪市)と、住民の健康作りやスポーツ振興などのまちづくりで連携を進める協定を結んだ。ミズノが自治体とまちづくりで連携するの

は初めてといい、朝日町は「一流スポーツブランドが持つノウハウを地域活性化につなげたい」としている。連携期間は2016年度から5年間。事業分野はミズノ製職員制服の導入から住民の健康作り、スポーツ

分野まで幅広い。福祉分野では、高齢者が楽しく取り組める介護予防体操をミズノの協力で開発し、同社と共同で町が開催する健康フェスティバルで発表する。子どもを対象としたマラソンなどのスポーツ教室も開く。ミズノが派遣する講師が指導する。

町職員の夏場のユニホームとなるポロシャツ120人分も、約80万円でミズノ製を導入、ミズノと町の合作ロゴを縫い付けて発信する。



上 事業連携を発表した朝日町の鈴木浩幸町長(左)と山中英二・ミズノ取締役(右)。中央は仲立ちした村尾隆介・町職員の制服となるミズノと朝日町共同制作のポロシャツ。ミズノにちなみ毎週水曜日に着用する。

最 性が 健体 職に 委員 司らの 免許 くれた 201 手続き 給10分 性の免 かった 教諭が 同様の 力月)相 納する いう。 菅野 長は 月合